



新工SPH通信

VOL. 3

新潟県立新潟工業高等学校

SPH推進委員会

平成 29 年8月10日

Community cooperation

平成 29 年 7 月 26 日（水）港町・新潟に根ざした企業を見学として「新潟原動機株式会社」に機械科 1 年生 80 名が午前と午後に分かれて参加しました。

工場見学に運営指導委員の佐々木様も加わっていただき、概要説明の後、工場内をツアーしました。

工場内は撮影禁止のため生徒のコメントのみ

【生徒から出た質問】

- Q 鑄造製品の欠け対策について
- A 木型の修正で対応しています。
- Q マシニングセンターの工具の数は？
- A 五面加工機などは240本です。

【スキルアップシートより生徒の感想】

- これから実習する鑄造に対して興味がわいた。
- 質問することができた。
- エンジン部品を一つ一つ作り少しの誤差も許されないとても厳しいと思った。
- 次はもっと質問しようと思った。
- 女性が現場で働くのはめずらしことではなく理解のある会社のように良かったです。
- 工場がきれいだった。
- 仕事をしている人が嫌な顔よりも笑顔が多く、自分に合った仕事を探したいと思った。
- 工具を多く使っていて一つ一つ整備されていて、これからの整備整頓に生かして行きたいと思った。
- 今までは工業系の進路を考えていなかったので今回気になったところを調べて自分の将来につなげた。

【生徒の変容と身についた力】

- 地域に世界を相手にしている企業があることを実感したように感じた。
- 企業内でいろいろな仕事があることに気づいたようだった。
- 質問も積極性が出てきた。
- 学校の勉強との関連性について考えるようになった。
- 鑄造からエンジン製品検査までの一貫した仕事を見学し、進路を強く意識した生徒もいた。

